

## 参考資料⑦

健康医療部

平成23年8月31日

### 成人病センター建替えにかかる地元説明・意見交換会について(報告)

8月25日及び30日に開催いたしました、大手前・森之宮両地区の住民説明会及び意見交換会の結果、成人病センターの大手前地区への移転に納得をいただくことができませんでしたので、その旨ご報告申し上げます。

なお、8月30日の住民説明会及び意見交換会において、地元住民の方から要望書が提出されましたので、併せてご報告いたします。

平成23年8月31日

健康医療部長 高山 佳洋

## 要 望 書

大阪府知事 橋下 徹 殿

平成 23 年 8 月 30 日

大阪市地域振興会 中大江東連合町会

大阪市地域振興会 北中道連合町会

先般、『成人病センター建て替え問題』についての説明会と、大阪府職員と大手前・森ノ宮両地区住民の意見交換会が開催されましたが、住民の町を愛する熱意に対しての府職員の不誠実な説明と対応は大変遺憾であります。

職員の説明は同センターを大手前に移転させる事に優位性があるという一方的なものであり、多くの実情を知らない住民を誤魔化そうとしているだけであり到底納得のいく説明ではありませんでした。

多くの参加住民からも、咲洲庁舎への全面移転が撤回されている事から、2つの府庁舎を維持し続ける事は、府民に大きな財政的負担を強いることになると同時に、府民サービスの低下を招くことになるのは明白ではないかと危惧する意見も多く、また、庁舎問題が解決されなければ、「大手前・森ノ宮まちづくり協議会」で議論された大手前・森ノ宮の土地利用計画も抜本的に見直しをしなければならぬと言う意見が出された他、同センターの大手前移転も白紙に戻すべき等という当然かつ厳しい意見が出されました。

また、成人病センターが大手前に移転決定となれば、現在、健康科学センター（12階）にあるP3施設も大手前に建設が予定されると推測いたします。現に、25日の意見交換会の場で成人病センター総長が「今のところ、予定にないが将来その時が来れば、また住民の皆様方にご説明申し上げます。」とご発言されました。従って、P3施設は作られると解釈致しました。大手前に作らないという説明は、あくまで、大手前移転を進めるための方便であり、ここに至ってもまだ、住民に事実を告げようとする姿勢に大いに疑問が残るものでした。そして、このことは、徹底的に追及されるべきものであると思います。私供は、その様な研究施設が併存する同センターの大手前移転には、大手前住民としては断固反対であります。

また、森之宮では健康科学センター内にP3施設が、住民に対し協定書も締結しないまま、作られている事実があります。一度も使用した事がないとの説明でしたが、それでは一度も使用した事がない証拠をご提示頂きたいと思います。知事には、森之宮住民がどれだけの思いをもって、成人病センターを永年支えてきたかをご理解願いたいと思います。そのような思いに理解をする努力をされず、また、上記のような事にたいする真摯な説明をなされないという事は府の住民軽視もはなはだしいと思わざるをえません。

翌日の新聞記事によりますと『僕と組織の考えが同じなので、組織のしかるべき人間が説明すればいい』と提案者として無責任極まりないコメントをされておられますが、組織の意思決定をされているのは橋下知事ご自身であり、説明会での幹部の方のご回答も、成人病センター大手前地区への移転のご提案者は橋下知事だと申されております。成人病センター総長も、大手前地区にはこだわっておられないとの事で、言い換えれば、成人病センターの大手前移転にこだわっているのは橋下知事だけであると考えます。

この様な堂々巡りは時間の無駄でもあります。そして、ますます成人病センター建て替えのスタートが遅れる事になります。同センターの早期建て替えは多くの府民の願いでもあります。知事が、成人病センター大手前地区への移転建て替え案を取り下げして頂ければ、知事の責任は果たせると私共は思います。

早急に、成人病センター大手前地区への移転建て替え案を取り下げ、現地建て替えをご決断されて、府政発展に間違いのないご判断をして頂けますようお願い申し上げます。両地元地区住民の意見は一致しております。

以上